

2021年度神奈川県小学生柔道大会  
兼 2021年度第18回全国小学生学年別柔道大会県予選(強化選手選考会)  
要項

- 1 目的 わが国の将来を担う小学生の心身ともに健全な育成を目指し、児童相互の交流・親睦及び正しい柔道の普及・発展を期する。また、将来の日本柔道を背負う、ジュニア選手育成を目的とする。
- 2 主催 神奈川県柔道連盟
- 3 後援 神奈川県・神奈川県スポーツ協会・神奈川県柔道整復師会
- 4 日時 令和3年5月30日(日) 午前9時00分開館予定
- 5 会場 神奈川県立武道館
- 6 実施種別
- ①小学6年生男子 45 kg級      ②小学6年生男子 65 kg級  
③小学6年生男子 65 kg超級    ④小学6年生女子 40 kg級  
⑤小学6年生女子 55 kg級      ⑥小学6年生女子 55 kg超級  
⑦小学5年生男子 45 kg級      ⑧小学5年生男子 45 kg超級  
⑨小学5年生女子 40 kg級      ⑩小学5年生女子 40 kg超級
- 8 参加資格
- ※小学生6年の優勝者については第18回全国小学生学年別柔道大会に出場出来ます。
- (1)令和3年度全日本柔道連盟競技者登録者及び登録申請中の者  
(2)登録所属以外での出場は認めない。(発覚した場合には、選手の貸し借りを行った両所属からの当連盟主催大会への出場を1年間停止とする)  
(3)選手の年齢区分は次の通りとする。(各種目の出場人数の制限はありません。)  
小学5年生の部 平成22年4月2日以降に生まれた者  
小学6年生の部 平成21年4月2日以降に生まれた者  
※ 但し、帰国子女等についてはこの年齢制限を適用せず、学年齢による種別に出場できる。
- 9 試合方法
- (1)国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」で行い、本大会申し合わせ事項を適用する。  
(2)試合時間は3分間とし、トーナメント戦又はリーグ戦にて行う。  
(3)勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」「判定」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」が2ある場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。  
指導1であれば旗判定で勝敗を決定する。(GSは行わない)  
(「指導」数によって勝敗が決する例=0対2、1対2)  
(「指導」数に差が出ても判定になる例=0対1)  
(4)本大会申し合わせ事項として、寝技の攻撃・防御において抑え込もうと相手の腋を掬い返そうとする状態の時に相手の肩関節が極まる、あるいは肩関節に損傷を及ぼす判断をした場合は、受傷を防ぐために早めの「待て」とする。  
(5)「逆背負投」(通称)の様な技を施すことは、「少年大会特別規定」により反則負け(重大な違反)とする。例えば一方の試合者が右組、他方の試合者が左組の体勢から、右組の試合者が正しく組んだ釣り手側の前襟を両手で握りながら、右足前回り捌き又は左足後ろ回り捌きで技を施し、相手を左方向に一回転させながら捻りを加えて背中、又は頭から投げ落とす様な技をいう。但し背負投を施して、相手が技を防御するために反対の肩越しに落ちた場合は含まない。  
(6)両袖を持って投げ技が施され、技を施された相手が「ヘッドディフェンス」以外に対処する事が出来ない投げ技を禁止する。(反則負け)併せて両袖持ちの状態から相手に抱きついて、小外掛、大内刈等で後方に浴びせ倒す事は後頭部強打の恐れがあり禁止する。(反則負け)
- 10 計量
- (1)所定の時間内に2回までの計量を認める。  
(2)場所等：男子 指定場所 下衣を着用。  
女子 指定場所 規定のTシャツ(製造元のワンポイントを認める)・下衣を着用。
- 11 申込方法
- (1)「大会申込書」及び「短冊」に必要事項(学年・体重・種目・性別等)を記入し、短冊は切

り離して参加費と共に現金書留にて申込みこと。

※「大会申込書」及び「短冊」は男子(黒色) 女子(赤色) で記載すること。

(2)申込締切 令和3年5月6日(木)とします。(期日厳守)

(3)申込先 〒221-0014 横浜市神奈川区入江1-2-2-8

横浜入江郵便局留 神奈川県柔道連盟 大友 隆雄 宛

(4)参加費 全種目 1,000円 (保険料等を含む)

※参加費は原則として返却致しません。

1.2 表彰 優勝・準優勝・3位(2名)・5位(4名)を表彰する。

1.3 選考方法 試合結果、練習内容を参考にして、本年度強化選手をジュニア強化委員会で選出決定する。選出人数は未定です。

※現在、正しい柔道・しっかり組んで一本を取る柔道が重要視されています。

ジュニア強化委員会もこの観点から選出を行います。

1.4 ゼッケン ゼッケンは、各自で下記要領にて必ず縫い付けること。(無ければ失格とする)

① ゼッケンのサイズは、概ね横30cm~35cm、縦25cm~30cmとする。

② 縫い付け位置は後襟から約5cm~10cm下部とし、対角線にも縫い付けること。

③ ゼッケンの表記は上部2/3に苗字、下部1/3に所属名を記載すること。

1.5 その他 (1)参加者全員傷害保険に加入し、試合中の不慮の負傷・疾病については応急処置を致しますがそれ以上の責任は負わない。

(2)大切な成長過程にあることを重視し、減量行は行っていない。

(3)皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

(4)ゴミは各自・各所属でまとめて持帰ること。

(5)健康記録表の提出を出場の条件とします。また健康観察期間及び大会当日に37.0度以上の発熱が確認された場合は大会の出場が出来ません。

(6)大会に関する問い合わせは下記まで

神奈川県柔道連盟 ジュニア強化委員会

大友 隆雄 TEL 090-4203-4795

柴崎 文伸 TEL 090-9950-3400

※現在、新型肺炎コロナウイルスが非常に大きな社会問題となっております。場合によっては大会規模の縮小及び中止も考えられます。無観客試合とします。衛生対策と共に県柔連のホームページにて告知します。全員マスク着用及び健康記録表の提出等をしていただくこととなりますがご理解のほどよろしくお願いいたします。

※ 脳振盪対応について

選手および指導者は下記事項に遵守すること

1. 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
2. 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること)
3. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。